

令和元（2019）年8月30日

一般社団法人日本解剖学会
会員 各位

一般社団法人日本解剖学会
理事長 八木沼 洋行

正常解剖における遺体取り違えについて

医学部・歯学部の解剖学教室では、献体を通じてお預かりしたご遺体の適正な管理に務め、正常解剖を通して肉眼解剖学の教育研究にあたっています。しかし、本年3月、北海道大学において遺体の取り違えが発生し、本日その調査結果が北海道大学歯学部のホームページ（<https://www.den.hokudai.ac.jp/>）に公表されました。

日本解剖学会は、今回の取り違えが篤志献体の会の会員の皆様およびそのご家族に深い憂慮と不安を与え、医学・歯学教育に対する国民からの信頼を失いうる重大事故と深刻に受けとめております。今後、全国各大学におけるご遺体の管理体制に関する調査を実施して点検を行い、今後このような事故が二度と起こらぬような管理体制のあり方を検討し、学会としての提言を行うことで具体策を示し、再発防止に積極的に努めて参ります。